



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

Page 1

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 724人

医師 161人

コメディカル 563人

【管理栄養士紹介登録数38人】

平成20年4月18日現在

《目次》

～啐啄（そったく）の機～ 高村 宏先生……………Page 1
研究会等の実施報告……………Page 2、3
研究会他のお知らせ……………Page 4

～啐啄（そったく）の機～

当研究会理事 高村内科クリニック 高村 宏

患者教育のタイミングについての比喻に、先輩の先生が講演の中で用いた用語です。雛が孵化する時に雛が内からつつく頃に、母鳥が外からつつく様を「啐啄の機」と禅の世界で言うそうで、機が熟して弟子が悟りを開こうとする時にすかさず師匠が教えを説く様を表すものです。絶妙のタイミングであってこそ無事雛が生まれるし、弟子も悟りを開けるということです。糖尿病患者教育もタイミングが重要です。患者さんが行動を変えるには動機付けの内容、方法が優れていることは勿論重要ですが、タイミングの良し悪しでその効果は雲泥の差を生じます。糖尿病の自己管理行動の多理論統合モデルは前熟考期、熟考期、準備期、行動期、維持期に分類されそれぞれの介入方法が提唱されています。このモデルもタイミングを逃さずに、心理状態に合った教育をしましょうということと解釈できます。しかし実際の臨床ではどの時期にあるかなど容易に判断ができず、期待する通りには進まないことのほうが普通です。やはり失敗をくり返し、経験を積むしかありません。行動の変化を促すための準備状態を作り出すことと、機を見て背中を押すこと、周囲が見守ることがコツと考えます。時期が来るまで焦らず待つことが大切な場合もあります。旨くいくと多くを語らずとも大きな成果を挙げます。KY（空気が読めない）では駄目です。

さて特定健診、特定保健指導が制度としては今年から始まりました。実際の運用が始まるのに手間取ったり、いろいろ批判が出たりしています。しかし糖尿病の一次予防に積極的に関われるチャンスと捉えることも出来ます。特に管理栄養士、健康運動指導士にとっては、指導で良い結果を出すことで社会的な認知度が向上するチャンスです。健診は無症状の病気でない人、または病気ではないと思っている人が対象ですから、行動変容を促すことは大変ですが、糖尿病の療養指導での経験が活かされると確信しています。型通りに進めることが求められますが、「啐啄の機」も忘れてはならないことと考えます。



研修会等の実施報告

平成19年度 第8回 西東京糖尿病療養指導士 認定式

平成20年4月10日(木)「立川女性総合センターにAIM」において実施されました。

平成19年度は新たに125名が西東京糖尿病療養指導士として認定されました。国分寺変電所の火災によりJRのダイヤが乱れる大変な混乱の中、ご出席頂いた合格者ひとりひとりに認定証が手渡されました。また、特別講演として聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科教授 田中 逸先生に「CDEの地域医療での役割」をテーマにお話をいただきました。認定者の皆さんは決意も新たに熱心に耳を傾けておられました。その後、北里大学薬学部 井上 岳先生から当会の紹介と入会をお勧めいただき、認定式は無事終了しました。新認定者の皆様の、今後の医療現場でのさらなるご活躍を期待いたします。



平成19年度認定合格者を代表して、看護師の柳澤美穂さんに養成講座受講のご感想、合格の喜びなどをご執筆いただきました。

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 柳澤 美保

私は、糖代謝内科に勤務して4年目になります。私の勤務する病棟では、教育入院の患者様が多いのですが、一概に教育入院といっても、患者様の年齢や病歴、生活背景などによって病識や理解力は本当に様々で、どのようにしたら患者様に理解してもらえるか、何度も入退院を繰り返す患者様にどのような指導をすれば効果的なのか、試行錯誤の日々を送っていました。今回、西東京のCDEを取得することで、糖尿病について学び、日常直面する様々な問題の解決の糸口になるのではと思い挑戦することにしました。

講義の中で「どんな患者様も見放さない。」とおっしゃった先生の言葉が印象に残っています。入院は患者様にとって人生のほんの一部で、糖代謝疾患では、患者様の普段の生活を考慮し、長期的にかかわっていくことが重要なことを再認識しました。また、外来医師や他職種の方々の講義を受けて、看護師としての患者様への指導の方向性を考えるよい機会となりました。

認定試験に向けては、問題集とガイドブックを中心に行いましたが、それまで漠然と覚えていた知識が明確になり、以前より詳細に、自信を持って指導できるようになりました。これからもCDEの名に恥じないように努力し、患者様の視点に立った指導をしていきたいと思っています。

最後に、お忙しい中CDE認定に関わって下さった多くの先生方、スタッフの方々に感謝いたします。



平成18年度受講・試験合格状況

養成講座受講者数	185名
----------	------

認定試験

実施日	2月17日	合格者数	125名
-----	-------	------	------

受験者数	158名	合格率	79.1%
------	------	-----	-------

認定者職種

認定者職種	人数	%
管理栄養士・栄養士	33	26
看護師・准看護師(兼務含)	55	44
薬剤師	22	18
臨床検査技師	11	9
その他	4	3
合計	125	100

第3回 西東京糖尿病心理と医療研究会

平成20年3月22日（土）八王子労政会館において開催されました。

3月22日の午後、第3回西東京糖尿病心理と医療研究会を東京の八王子で行いました。今回も120名ほどの参加者の見守る中、会は2部構成で、前半は模擬患者を利用したワークショップ、後半は石井先生の講演という形で行いました。

1つ目のワークでは、1例目は頑固な強圧的な父親に育てられた1型糖尿病患者、2例目はインスリン導入に際して爆発してしまった2型糖尿病患者、3例目は誰かが助けてくれると思ってるマザコン2型糖尿病の3名の役を模擬患者に演じていただき、この模擬患者に対して、予め選出した各看護師、栄養士、薬剤師などのコメディカルがどのように面接で説得の糸口を見つけるかをライブで壇上で行っていただきました。模擬患者は長崎病院の門田先生が第1例目、ライフプランニングセンター登録SP(*)の松野氏が第2例目、私朝比奈が第3例目をこなしました。セッション全体はファシリテーターの岡崎先生やコメンテーターの山本先生のおかげで各コメディカルの対応のポイントの要が露になり、いつもと一味違ったワークになりました。模擬患者役を演ずると、医療者に対して「また同じことって。」「いい加減に違うこと言わないかな。」「こっちは怒ってるんだよ。」とかいう気持ちになり、ああ、こういう感情で患者さんは感じているんだな、とこちらも勉強になりました。それにしても専門のSPの松野氏は役に徹しており、さすがでした。なかなか一朝一夕ではあの演技はできません。



続いての石井先生のご講演は「糖尿病を引き受ける」でした。今回は石井先生から患者さんの表面上のステージングよりも、もっと深層の内面の動きを考えさせる言葉を聞きたかったのでそういう意味では我々のニーズに合う内容でした。ただ交通機関が遅れて石井先生の講演時間が減ってしまい、質問時間も不足でもうちょっと質問したかったのができなかったのが残念です。

この西東京糖尿病心理と医療研究会は色々な糖尿病患者さんの心理を確認したり、トレーニング、研究する場として年2回行っていくつもりです。現在は色々試して実験のような場ですが、またそのうちに秋の情報をお流ししますので興味のある方はご参加ください。

*SPとはSimulated patient (模擬患者) の略称

ライフプランニングセンター／南平眼科内科 朝比奈 崇介

第14回 西東京糖尿病患者会連合特別講演会

第18回 東京都糖尿病協会多摩ブロック糖尿病教室

平成20年3月8日（土）小平市ルネこだいらにおいて開催されました。

3月8日（土）小平市のルネこだいら「中ホール」において、第14回 西東京糖尿病患者会連合特別講演会および第18回東糖協多摩ブロック糖尿病教室が開催されました。第1部は立川相互病院内分泌代謝科部長 住友 秀孝先生に「やさしい糖尿病腎症2008」についてご講義いただき、つづいて2名の患者さんに糖尿病体験談をお話いただきました。第2部は東京都済生会中央病院 副院長 渥美 義仁先生に「糖尿病合併症の予防」という演題でご講演いただきました。また講演開始前のロビーにて看護師・薬剤師・管理栄養士の方々による相談コーナーが行われ、多くの患者さんが積極的に活用されました。参加者は約200名で、今回も盛況のうちに終わることが出来ました。



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業

◆ 間接事業

◆ 第16回 武蔵野糖尿病医療連携の会 (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年5月10日(土) 17:30~19:30
 場所 : ザ・クレストホテル立川 4階「桜の間」
 立川市錦町1-12-1 TEL042-521-1111
 参加費 : 医師 1000円 医師以外 500円
 テーマ : 「外来インスリン療法の導入とフォローアップ」
 「二相性インスリンアナログ3回注射法の実際」
 「インスリン治療における看護師の役割」
 「外来インスリン患者の保険請求」

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(第2群)申請中
 なお、会終了後、意見交換の場をご用意しております。

※お申込はEメールにてお願いします。

宛先 Hiroyuki.ogura@sanofi-aventis.com

◆ NPO法人西東京臨床糖尿病研究会 第43回 総会・例会 (※お申し込み不要です)

開催日 : 平成20年6月28日(土) 14:00~17:30
 場所 : 武蔵野公会堂
 参加費 : 会員無料 一般 1,000円
 テーマ : 「メタボ時代の栄養指導」

*詳細が決定し次第会報・HPでお知らせします。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(第2群)申請予定

◆ 第7回 西東京CDE研究会 総会 (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年7月12日(土)
 場所 : 府中グリーンプラザけやきホール

*詳細が決定し次第会報・HPでお知らせします。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位(第2群)申請予定

◆ 平成20年度 西東京糖尿病療養指導プログラム (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年7月27日(日)

*詳細が決定し次第会報・HPでお知らせします。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リेंटフ 3rd 402

TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

